

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年12月18日(金)13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

事業統括部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他 12名

#### 5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料3について)

- ・TVFの事故対処について、TVFの工程内での安定的な冷却が、HAW貯槽への返送に比べて安全かつ合理的な対策であることを、作業員のオペレーションの複雑性や必要な資源量を踏まえて具体的に説明すること。
- ・TVF施設内の純水タンクの水のみを用いた対策により、TVFにおける事故対処に係る時間余裕をどの程度確保できるのか説明すること。

(資料4について)

- ・MPの設備、機器の耐震性確認結果については、結果だけでなくその評価方法を示すこと。

(資料6)

- ・敷地内固定源の評価における判断基準①として、塗料等は製品性状により運転員の対処能力へ影響を及ぼすおそれのないものとして評価対象外としているが、評価対象外とする理由を具体的に説明すること。

(資料7)

- ・硝酸根分解設備等の実規模試験を実施しないとする根拠について、実規模試験で検証すべき事項は全てコールド試験で対応可能であることを具体的に説明すること。

○原子力機構より、了解した旨返答があった。

## 6. 配付資料

- 資料 1 : 東海再処理施設の廃止措置段階における安全対策のスケジュールについて
- 資料 2 : 再処理施設における代表漂流物の妥当性の検証について
- 資料 3 : 事故対処の有効性評価について
- 資料 4 - 1 : 分離精製工場（MP）等の津波防護に関する対応について（1）
- 資料 4 - 2 : 分離精製工場（MP）等の津波防護に関する対応について（2）
- 資料 5 : TVFにおける固化処理状況について
- 資料 6 : 再処理施設の有毒ガス影響評価について
- 資料 7 : LWTFに導入予定の硝酸根分解設備及びセメント固化設備に係る技術の検証について（状況報告）
- 資料 8 : ウラン脱硝施設の冷水設備の一部更新について
- 資料 9 : 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について